

五郎部 俊朗 我が心のうた

沖縄への感謝を込めて～日本の名歌を歌う～

沖縄県立芸術大学にて後進の指導にあたったテノールの五郎部俊朗が、令和6年3月に退任し沖縄を離れるにあたり、12年間過ごした沖縄の地と、沖縄の音楽ファンに感謝を込め、美しき日本のメロディーの数々を歌う。



テノール 五郎部俊朗

Toshiro Gorobe

北海道旭川市出身。北海道教育大学を卒業後、公立中学校に勤務。日本演奏連盟のオーディションに合格し、札幌交響楽団(尾高忠明指揮)と共演したことを機に、声楽家を志す。藤原歌劇団総監督だった故五十嵐喜芳氏の勧めにより、1986年渡伊。ミラノにてオペラ歌手としての研鑽を積み、トーティ・ダル・モンテ(1位)、トゥールーズ(2位)、マリオ・デル・モナコ(3位)、ヴェルヴィエ(3位)、ベニアミーノ・ジョーリ(3位)、チャイコフスキー(バッハ優秀賞)、フランシスコ・ヴィニャス(E.カンボガリアーニ奨励賞)、マリア・カラス(入選)など、欧州各地の国際コンクールで入賞を果たす。1988年にイタリア・トレヴィーゾ市立歌劇場にてロッシーニのオペラ「チェネントラ」でオペラデビュー。スイス・ビール市立歌劇場では「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」に出演。1990年に帰国し、藤原歌劇団公演にて国内デビュー。「チェネントラ」「夢遊病の女」などの成功により、第19回ジロー・オペラ賞「新人賞」受賞。その後、「セビリアの理髪師」「愛の妙薬」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「秘密の結婚」「メリー・ウィドウ」「こうもり」「ヴェニスの一晩」など、数多くのオペラ・オペレッタに主演し好評を博す。藤原歌劇団ロッシーニ・シリーズ公演「イタリアのトルコ人」「アルジェのイタリア女」「チェネントラ」「ランスへの旅」「どろぼうかささぎ」にも出演し、デビューから約20年間にわたり、藤原歌劇団にて主役テノールを務めた。また、J.S.バッハのカンタータ・受難曲の福音史家をはじめ、「第九」「メサイア」「レクイエム」「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして、各地のオーケストラや合唱団へ数多く客演。リサイタルでは「冬の旅」「美しき水車屋の娘」などのドイツ歌曲によるプログラムから、トークを交えて日本の抒情歌・世界の愛唱歌を歌う、親しみやすいプログラムまで、幅広く行っている。NHK「ニューイヤーオペラコンサート」「日本うた絵巻」「みんなの童謡」「我が心の愛唱歌・大全集」「ラジオ深夜便」「名曲リサイタル」など、テレビやラジオにも出演。「冬の旅」「舞踏への誘い」「日本のうた」「サンタ・ルチア」「歌は美しかった」シリーズI～VIなど、合計10枚のCDをリリースしている。2012年、沖縄県立芸術大学に赴任後は、後進の指導に力を注ぐと共に、沖縄県内での演奏活動も盛んに行っている。現在、沖縄県立芸術大学教授、藤原歌劇団団員、日本演奏連盟会員、日本声楽発声学会会員、日本歌唱芸術協会名誉理事。



ピアノ 相川陽子

Yoko Aikawa

神奈川県出身。北鎌倉女子学園中・高音楽科を経て桐朋学園大学ピアノ科卒業、及び同大学アンサンブルディプロマコース修了。ソロの他にアンサンブルピアニストとして多数の演奏会に出演。声楽家との共演も多く、テノールの五郎部俊朗氏とは、コロムビアから5枚のCDをリリースしている。また、小澤征爾氏による指揮セミナーや同氏音楽塾のピアニスト、読売サロンコンサート等の室内楽公演や、全国各地のオーケストラ(読売日本交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団・日本フィルハーモニー交響楽団・神奈川フィルハーモニー管弦楽団・オーケストラアンサンブル金沢・広島交響楽団・九州交響楽団等)にて、R・ムーティ、J・フルネ、G・ジェルメッティ、A・パッティストーニなど著名指揮者のもと、ピアノ・チェレスタなどの鍵盤楽器奏者として客演を重ねている。京都芸術祭最優秀協演賞受賞。



那覇文化芸術劇場なはーと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目26番地27号
TEL:098-861-7810 FAX:098-861-7870

バス

- ① 若松入口……………徒歩約6分
- ② 久茂地公民館前…徒歩約2分
- ③ 沖銀本店前…………徒歩約6分
- ④ 松尾一丁目…………徒歩約6分
- ⑤ 松尾……………徒歩約6分

モノレール

- ⑥ 県庁前駅……………徒歩約6分
- ⑦ 美栄橋駅……………徒歩約6分

※駐車場は関係者専用となりますので
公共交通機関をご利用ください